

令和 4 年度 墨田区業平小学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 2 4 日

<p>学 校 目 標</p>	<p>現在、AI や ICT がめまぐるしく進歩している。校長は学校本来の役割をしっかりと自覚し、教育における不易と流行を見極め、理想の実現に邁進していかねなければならない。校内組織の活性化を図り、教職員が一丸となって『独学自修』の精神を基調とし、「知・徳・体」のバランスのとれた子供の育成に当たるとともに、学ぶ喜びに満ちた楽しい教育活動を家庭・地域と一体となって推進し、「地域の教育機関」として地域・保護者から信頼される学校を目指す。また、昨今の感染症対策に鑑みソーシャルディスタンス・感染拡大防止に関する行動をとりながら新しい生活様式を踏まえた安全で安心な教育活動を推進する。</p>
<p>目 指 す 学 校 像</p>	<p>①子供たちが誇りにする学校          ・一人一人が認められ、生きること喜びと自信をもつことができる。          ②教職員が誇りにする学校          ・研究と研修を土台にして、教育者としての自信と意欲をもつことができる。          ③保護者・地域が誇りにする学校          ・地域・保護者から信頼され、業平小学校に子供を預けてよかったと思うことができる。</p>
<p>目 指 す 子 供 像</p>	<p>「独学自修」の校訓の下、人権尊重の精神を基調に、個人として、社会の一員として社会生活を営む上で必要とされる、知識・技能・態度の基礎を身に付け、豊かな人間性を育成する。          また、人間や自然・社会・文化など様々な対象とのかかわりを通じて、自己の個性や良さを発見する素地を養い、自分の道を自ら切り開いていく力を培うために以下のような児童像を設定する。          ◎ 進んで学ぶ子    ○ やさしい子    ○ 元気な子</p>
<p>目 指 す 教 師 像</p>	<p>公立学校の教職員であることを自覚し、児童・保護者や地域社会の人々の期待と信頼にこたえる。</p>

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。	B	保護者アンケートでは、8割を超えて、「学校は基礎学力の定着・向上のために工夫している」と肯定的に回答している。また、7割以上の6年生が、「おもしろい、やる気が出た」と授業に意欲的である。 一方、高学年では、学力下位層の児童が数名いる。次年度は、子供の考える力を伸ばす授業研究を一層推進するとともに、学力下位層対象の補習教室などの手立てを講じて、基礎学力の確実な定着を図る。	B	B
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行っているか。	B	保護者アンケートで、9割以上が「お子さんは学校生活を楽しく送っている」との回答だった。また、約85%児童が「自分の気持ちを分かってくれる先生がいる。」と回答している。 個別に支援や配慮が必要な児童の情報を全教職員で共有するだけでなく、具体的な支援のあり方についても共通理解を深め、一人一人の心や状況に寄り添う教育を一層充実させる。	B	B
	学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	B	保護者アンケートでは、約85%の保護者は、「学校と家庭は連絡・連携をきめ細かく取っている。」と回答している。一方、6年生のアンケートでは、6割弱が「地域の行事に参加している。」との回答であった。	B	B

様式 4

			学校では、地域の施設や地域の人との関わりを一層重視する教育活動を実践し、特色ある取り組みとして継続していく。		
	学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	B	教員の学校評価で「児童の実態を踏まえた研究を充実させたい。」という意見が出ており、今年度の取り組みを一層充実させ、来年度は、全学年で授業研究・協議会を実施する。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員タブレット使用で授業も一斉から個に進んだ。</li> <li>・空き時間があるとタブレット（ミライシード等）、動画で物語、その後感想を少し聞く、で終わっていた。もう少し、子供たちの発言や意見を出し合うなどあってもよい。</li> <li>・落ちこぼしのないように。</li> <li>・地域との関わりは難しいが努力してほしい。</li> <li>・コロナ禍できめの細かい指導が難しかったと思う。教員同士のコミュニケーション、細かい指導をお願いします。</li> </ul>		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行っているか。	B	保護者アンケートで「思いやりの心を指導している」と8割以上が肯定的評価であった。一方で、自己肯定感が低く、学級適応に不安を抱えている児童もいることを踏まえ、個々の心に寄り添う支援や校内における居場所づくりの確保に全力で取り組む。	B	B
	学校は、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいるか。	B	保護者アンケート「忘れ物をしない」約7割、「学習のルールの徹底」約8割、「あいさつ」約8割という結果である。 学習用具の準備、持ち物のルールなど、なぜそのきまりがあり、なぜ守らなければいけないのかを繰り返し指導していく。また、朝のあいさつだけでなく、廊下ですれ違ったときもあいさつできるよう教員自らが率先垂範する。	B	B
	学校は、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	A	保護者アンケート「事件・事故の未然防止」8割強、「感染症対策」は9割を超える肯定的回答であった。 ポストコロナを見据えながら、引き続き、感染症に負けない安全・安心な学校をめざすとともに、校内施設点検の徹底を図る。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活の一員として行事に協力して一生懸命に取り組んでいた。</li> <li>・基本的なあいさつは身に付いている。</li> <li>・物騒な事件が起きているので、学校、保護者、地域と連携して子供たちを真もめるよう再確認したい。</li> <li>・自らあいさつしてくれる子が多いが、小さい声で返してくる子もいる。みんなが元よくあいさつできるとよい。</li> <li>・感染対策はできていた。今まで通り徹底し油断することなく続けてほしい。</li> <li>・教育には意義が大切。なぜ守らなければいけないのか、一方的ではなく、話し合いで学ぶことが重要。</li> </ul>		
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。	B	教員の自己評価では、会議の短縮化やペーパーレス化、校務分掌担当の見直しを図るという意見がある。 来年度は、ペーパーレス化や ICT を活用して会議時間の一層の精選を図るとともに、担当分掌を見直し、複数名で職務にあたる組織編成を行い、分業化、均等化を図る。	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。	C	6年児童アンケート「コツコツ勉強している」、「考えることが楽しい」とともに6割強であった。 今年度に引き続き次年度も、児童が自ら問いをもち、解決していく学習活動の研究を進め、進んで学び、考える力の育成を	B	B

様式 4

営			めざす。		
	学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整えているか。	B	掲示物の点検、補修を行い、開校105周年に向けた新たな掲示スペースを設置した。施設・設備の安全管理などを徹底し、児童の安全を保障する。感染症対策については、9割を超える保護者から肯定的評価を受けている。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年は塾等忙しいと思うがもう少し宿題があってもよい。</li> <li>・105周年はコロナ禍の中での取り組みは素晴らしい。110周年に向けて、印象深い、すてきな感動を残せるよう頑張してほしい。</li> <li>・校訓である「独学自修」の意味から学んでもらい、失敗を恐れず積極的に行動する人間を育ててほしい。</li> </ul>		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。	B	保護者アンケート「学校は、教育活動や児童の様子をわかりやすく伝える」で8割超の肯定的評価を受けた。一方で、学級の様子をもっと知りたいという意見も出ている。 コロナ後の学校教育活動を保護者、地域の方に参観いただく機会を多く設定し、学校の様子を伝えるとともに、各種便りの電子化を進め、積極的に発信していく。	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。	B	保護者アンケートの集計結果と考察について、保護者に配信し、学校としての改善策について一層の理解と協力を得ることができるよう努める。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で仕方ないが、親子で交流できる場があるとよい。</li> <li>・電子化で苦勞も多いと思うが遅れることのないよう進めてほしい。</li> <li>・コロナ後にいろいろな交流が可能になると思う。</li> </ul>		

2 令和4年度学校評価のまとめ

<p>開校105周年式典を始め、各記念行事の実施の際には、地域、保護者の皆様の多大なるご支援、ご助言をいただきました。コロナ禍ではありますが、全校で周年行事に取り組むことができましたことを改めて感謝申し上げます。</p> <p>依然、新型コロナウイルス感染症の不安が払拭できず、様々な学校行事を制限しなければいけない1年ではありましたが、運動会では、児童同士が互いに見合い、応援できる場を設定しました。音楽会では、歌唱はできませんでしたが、それぞれの学年の実態や発達段階に応じた創意工夫ができ、音楽活動の幅が広がったと思っております。</p> <p>今年度は、コロナ後を見据えた学校教育の実現、コロナ以前に行っていた学校行事や教育活動をどのように再構築していくか課題となりました。</p> <p>また、改めて本校の児童の学習内容の定着状況や考える力、表現する力などを分析し、これからの社会を生きるためにどのような力を身に付けるべきかを全教職員で問い直していく1年となりました。</p> <p>さらには、長く続いたコロナ禍、マスク生活を含め、児童が抱えているストレスや不安と向き合いながら、一人一人の心に寄り添い、個別に支援していくことが極めて重要であると意を強くいたしました。</p> <p>開校110周年を目指して、業平小学校が大切に守り続けてきたよき校風、校訓を受け継ぎつつ、現代的な教育課題の解決とこれからの社会の担い手となる児童の育成をめざして、教職員一同、全力を努力する所存です。</p>
---

以上の通り報告いたします。

墨田区立業平小学校 校長 伊藤 康次 公印